

JR東海から(株)全日警への出向!?

要員不足なのになぜ出向なのか？

JR東海労は全日警出向には反対だ！

JR東海ユニオンの情報紙によると、ユニオン第28回定期大会で、新幹線運輸所職場の代議員が「グループ・関連会社で要員が集まらず採用できないのであれば本体が支援すべきである」といった発言をしていることが報じられています。「本体が支援する」ということは、JR東海本体から社員を回す（出向させる）ということに他なりません。

職場では「東海道新幹線全列車・全区間への警備員の同乗態勢を目指すためJR東海から全日警への出向がある」と噂されています。

『JR東海労ニュースNo.2421号』では、JRCPへの出向は反対だと、JR東海労の考えを明らかにしました。「天変地異がない限り発生しない」はずだった一方的休日出勤は、天変地異が発生していないのにも関わらず、わずか6ヶ月で復活しました。一方的・計画的休日出勤が発生するということは、要員が足りていないということです。さらに新幹線車掌2人乗り組み体制で車掌さんは余裕のない作業を強いられ、おまけに休日出勤の強要です。そのうえでさらにJRCP、全日警への出向です。これでは年休取得もままならない要員体制がさらに悪化します。

上記の、ユニオン大会での新幹線運輸職場選出代議員の発言は、組合の側から、一方的・計画的休日出勤、年休抑制を推進する発言です。会社の代弁の発言です。

JR東海労は全日警への出向に反対です。8月8日、全日警への出向の噂について事実関係を質すため、『申第4号』で団体交渉を申し入れています。